

坂祝町のすべての子どもたちを地域総がかりで育てる

## 坂祝町コミュニティ・スクールのスタート

坂祝町教育委員会 教育課

### 1. 坂祝町コミュニティ・スクール立ち上げに向けて

本年度よりコミュニティ・スクールがスタートしました。これに向け、昨年度まで以下のような準備をしてきました。

#### ① コミュニティ・スクールの理解を深めたり、広めたりする研修会

まずは、コミュニティ・スクールとは何か、どういう意義があるのかを学ぶことが必要でした。そこで、教育委員会としては先進的に行っている白川村に行ったり、文部科学省主催の全国フォーラムや県主催の研修会に参加したりして、「これからを生きる子どもたちに必要な力」について学んだり、「コミュニティ・スクールの実践事例」から、坂祝町独自のコミュニティ・スクールは、どうすべきかを考えたりしました。

また、地域の方々や園・学校の先生方に当事者意識をもって参画していただくために、白川村のコーディネーター新谷さんや、慶應義塾大学の中室牧子氏をお招きして講演会を開きました。講演会後のアンケートには、「学校と地域がつながることで、子どもを育てるだけでなく、学校の教育力や地域力の向上も期待できる素晴らしい取り組みであることを実感した」といった声があり、理解の広がりを感じました。



#### ② 準備委員会における熟議

昨年度、園・小中学校の評議員、私立の園長や地域団体の代表者などで構成する「コミュニティ・スクール推進会議」を設

推進会議では、坂祝町の子どもたちに願う姿や、坂祝町の抱える課題等について話し合われました。委員からは願う姿として、「思いやりのある子」「地域行事に参加できる子」「たくましい子」など、様々な意見が出され、それらは最終的に、教育大綱に集約されることが確認されました。

また、スローガン「育もう未来の芽と郷土愛～地域の中に園・学校を、園・学校の中に地域を～」が作られました。



坂祝町の課題についても、「外国人児童生徒のスムーズな日本の教育への移行」

「働き方改革に伴い部活動の指導者問題、スポーツ少年団加入者の減少」「家庭の教育力の低下」等々、様々な意見が出されました。その中で、まずは園児・小中学生に関わる喫緊の課題である「ふるさと教育の充実」「外国人児童生徒への対応」「地域スポーツの充実」に絞って、取り組むこととなり、以下の3つの委員会で取り組むこととなりました。

#### ★ふるさと・絆委員会

…ふるさと教育の充実

#### ★多文化共生委員会

…全校児童生徒数の7%を占める外国人児童生徒に関する困り感について

#### ★地域・スポーツ委員会

…働き方改革に伴う部活動などの問題について

### 2. 「坂祝町コミュニティ・スクール」のスタート

#### ① 第1回「園・学校運営協議会」、 「地

域・園・学校協働本部」同日開催

【平成31年4月26日（金）】

推進会議のほとんどのメンバーが、運営協議会と協働本部に残っていただきました。

### 第1回 園・学校運営協議会

【目的】園・学校経営方針の承認

【会議の内容】

- ① 園長・小中学校長からの経営方針の説明
- ② 質疑応答
- ③ 承認

※従来の、園や各学校が単独で行ってきた評議員会と異なり、幼小中を一本化した運営協議会を行うことで、幼小中のつながりが透明化されてきました。

### 第1回 地域・園・学校協働本部

運営協議会のメンバーに加え、公民館長や学校の教頭、教務主任等も入っていただき、全体会で課題の確認等共通理解を図った後、3つの委員会に分かれて話し合いを行いました。



その後の動き

#### ★多文化共生委員会

外国人対応の困り感について、より知るために、委員が園・学校を訪問し、話を伺いました。「ある程度の日本語力を身に付けてから入学してほしい」「外国人保護者に日本の生活を理解してもらうことが大事」という話を受け、外国人で来年1年生に入学する保護者を対象に、日本の学校制度等についての説明会を町として初めて開きました。



外国人新1年生保護者説明会

#### ★ふるさと・絆委員会

小中学校では、ふるさと教育の体系化に向け、地域人材を活用した取り組みを教育委員会事務局（ふるさと・絆委員会担当）と連携を図りながら、実施しています。



ほたるの学習（小学校）

②第2回「園・学校運営協議会」、「地域・園・学校協働本部」同日開催

【令和元年10月29日（火）】

### 第2回 園・学校運営協議会

【会議の内容】

- ① 園長、小中学校長からの経営方針の進捗状況説明
- ② 質疑応答

※今後も園・小中学校と継続して「考える力」「聞く力」をつけていけるとよいといった意見が出されました。

### 第2回 地域・園・学校協働本部

第1回に続き、それぞれの委員会において、課題解決に向けて話し合いが行われました。

### 3. 終わりに

2月には第3回会議が予定され、運営協議会では、園・学校の運営について評価いただくこととなります。

坂祝町のコミュニティ・スクールは始まったばかりで、今後考えていかななくてはならないことが数多くあります。例えば、協働活動を実践化していくうえで、どの団体と進めていくかの見極めが必要となってきます。また、あいさつ運動など、社会教育において既に各種団体が行っている内容とのすり合わせも必要です。さらに、まだ地域に十分浸透しているとは言えず、理解を得る必要があります。今後、一人でも多く、地域の方々にご理解ご協力をいただき進めていきたいと考えています。